



## 農業技術の指導と 普及確立

寺 田 慎 一

(78才)

住所

秋田市

寺田氏は、昭和21年から県農業試験場長として農業技術の指導にあたり、水稻の保温析表苗代技術の確立普及と補肥稻作栽培の指導を行ない、積雪寒冷地における稻作の新技术の普及と安定化をはかり、農業の発展に尽くしている。また、35年同試験場退職後秋田県海外移住事業団の要請で南米パラグアイ国アルトパラナ移住地の農試場長として2年半にわたり研究と指導にあたり、38年には政府派遣の研究員としてブラジル国ベレム市の国立北伯農牧研究所において3年間研究に従事した。さらに、43年には、コロンボ計画の日本専門技術員派遣団の顧問として東パキスタンのダッカの養成所で農業指導にあたるなど、海外技術協力に参加し、農業技術の指導と普及に大きく貢献している。



## 産業経済の確立

まえ  
前 だ  
田

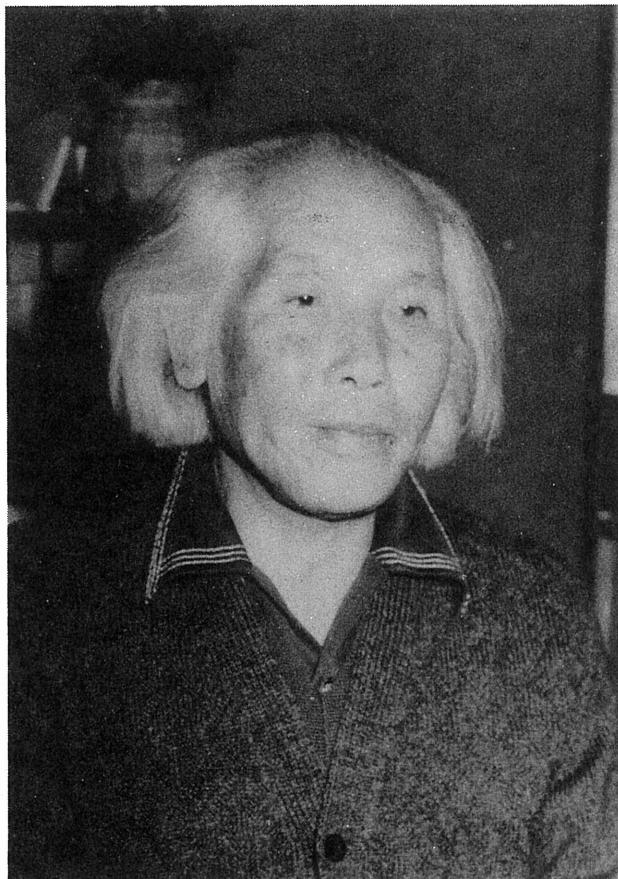
みのる  
寶

(77歳)

住所  
秋田市

前田氏は、昭和3年秋田銀行に入行し、34年から20年間取締役頭取の要職にありながら、この間、県信用保障協会理事、副会長として協会の基盤づくりに寄与し、業務を拡大させ、30年から秋田市経営者協会長、49年県経営者連盟会長として正しい労務管理の普及など近代的労使関係の確立に努めるとともに、秋田商工会議所常議員、会頭、顧問として業界の指導育成に尽力している。

また、54年には地域経済の情報の収集、分析、提供を目的とした秋田経済研究所を設立し、理事長として県内産業経済の発展に大きく貢献している。



## 与八人形の創作

たか の よ はち  
高 野 與 八

(73歳)

住所

雄勝郡稻川町

高野氏は、昭和7年頃から日本画、染色工芸、日本手書き友染等を修業、研究し、

23年頃から従来のうるしまき絵と異なる独自の技法を用いた「与八人形」を創作発表

し、さらにこの技法を発展させ、現在こけし形に限らず箱物や壁面にも展開させ、国

の内外から好評を博し、本県美術民芸品の名声を高めている。



## 郷土史の研究と編さん

とみ  
富木  
き  
りゆう  
隆  
ぞう  
藏

(71歳)

住所

仙北郡角館町

富木氏は、昭和26年から46年まで高等学校の教師として子弟の教育に尽くす一方、

民俗学の分野に深い造詣をもち民俗資料の収集、保存に意を用い、農村社会における

慣行、年中行事の継承と記録の保存に努めた。

また、6年間県文化財保護専門委員を勤めたほか、県芸術文化協会副会長、県民芸協会副会長、角館町芸術文化協会長として地域文化振興を図り大きな足跡を残している。

氏は、このほかに角館誌「衣・食・住編」の著書をはじめ、みちのくの城下町「角館」、日本の民俗「秋田」などを出版して、地方文化の向上に大きく貢献している。



## 私学教育の振興

たか はし や た ろう  
高 橋 弥 太 郎

(69歳)

住所

秋田市

高橋氏は、昭和11年から15年まで、小中学校の教師を、また、21年からは県内の高

等学校の教師として子弟の教育に尽くし現在に至っているが、特に27年から私立高等

学校長として、また、県私立学校審議会委員として私学行政に尽力し、38年からは県

私立学校連合会長として県内私立学校を統括し、私学の振興、育成に大きく貢献して

いる。



## 社会教育の振興

はせやまかねこ  
長谷山包子

(65歳)

住所

雄勝郡羽後町

長谷山氏は、昭和23年から6年間高等学校の講師として子弟の教育に携わり、その

後33年から37年まで県教育委員会委員として、その間36年からは教育委員長として教

育の振興、発展に尽力した。

また、38年から現在まで県社会教育委員の要職を勤めるかたわら、秋田市婦人団体

連絡協議会長、県社会教育委員連絡協議会長、県生涯教育推進協議会副委員長、秋田

家裁調停委員等として社会教育、婦人教育活動等の推進に尽力し、本県教育の振興、

発展に大きく貢献している。